

無所属 河内長野市議会議員 若林やすし 活動報告

河内長野市を『日本一優しいまち』にすべく働きます！
赤ちゃんからお年寄りまでのあらゆる世代にとって優しいまちにします。

河内長野を日本一優しいまちに！

01 お年寄りに優しいまち

ボランティア活動を“お互い様精神”で行えるような仕組みづくり

有志活動に沿ったポイント付与

お互い様精神 → ポイント付与によるハーフ有志活動

令和4年 6月・9月・12月の議会でこの観点を取り上げました

河内長野市

有志活動

●役に立ちたいと思っている人
●元気な人（個人や企業など）
●CSR活動（社会的責任）に積極的な企業

●必要としている人
●困っている人（老人・子どもはじめ全ての方対象）

有志活動… ■既存地域活動 ■新たなコミュニティの取り組み [病院送迎・だれでもサロン（食堂）等]

●元気なうちに有志活動（ボランティア）、参加者にはポイント付与
●自分が高齢になった際にポイント活用
●地域活動の見える化をITにより構築
●有志活動（ボランティア）拡大による新たな地域コミュニティへの取り組み

令和4年 6月の議会で若林やすしの録画映像公開中

02 働く人に優しいまち

本市の本来持つ魅力を内外に戦略的にアピールし、定住・移住を誘致・サポートしています。

働く人を制度で支援

自然豊かな住環境

河内長野市

●父性・母性・子ども性が育つ自然豊かな住環境
●テレワーク中での仕事のオン・オフの切り替えに最適

●テレワークに最適な住環境を生かす転入誘致。
●教育都市化推進と実戦的 ICT 教育（教育現場で活用される教育通信技術）推進による子育て世代の呼び込み。
●中学校全員給食早期実現。▶令和8年から開始予定
●空き家対策

令和4年 12月の議会でこの観点を取り上げました

HP/バナー広告などで情報を掲載

03 女性赤ちゃんに優しいまち

市のイメージをポジティブに転換し子育て世代にとって住みたいまちに。

河内長野市

子育て支援

補助金

●テレワーク移住支援補助制度
●近居同居促進マイホーム取得補助金

令和4年9月の議会でこの観点を取り上げました

●男性育児参加率アップ
●18歳までの子供医療費助成制度 ▶令和6年から18歳まで補充予定
●子育て世代呼び込み地域活性化

令和4年9月の議会で若林やすしの音声配信中

活動報告!!
『令和5年1月号』
令和4年12月議会報告

無所属
河内長野市議会議員

愛する故郷に新しい風を！
若林やすし



河内長野市の施策トピックス

- 子育て世代を支援!! (再稿)
- ① 他市の先駆け【テレワーク移住支援補助制度】
 - ② 【近居同居促進マイホーム取得補助金制度】
 - ③ 中学校全員給食、令和8年から開始予定
- 高齢者を支援!! (再稿)
- ① 高齢者のスマホデビュー応援事業
 - ② マイホームスピーカーを活用した高齢者の健康維持・介護予防の取り組み
- プレミアム付モックルコイン事業
- (1人あたり)3000円で5000円のモックルコインカードを販売!!
-

若林からの質問

先の議会にて、本市として戦略的に『定住人口の維持』をあげるということでしたが、※シティプロモーションの概念を取り入れた施策として、より具体的な戦術、テレワークに最適な住環境を生かす誘致について、施策についての近隣都市との比較と共に聞かせてください。

また、コロナ禍での関西圏不動産物件検索実質実績第1位が転入に結びついていないことについて聞かせてください。

※シティ・プロモーションとは、地域活性化のための広報活動・施政活動のことです。



答

新型コロナウイルス感染症の影響により新たな生活様式が浸透し、地方への移住が注目されているこの機会を捉え、本市では今年度からテレワーク移住支援補助金制度を実施しております。

また今年度は、子育て・若年層をターゲットに、【南海・近鉄電車の車内広告】や【不動産情報サイト「アットホーム」】へのバナー広告掲載、【南海フリーペーパー「Natts」】への広告掲載や、住宅支援機構との連携など広告的PRにも積極的に取り組んでいるところでございます。

ただPRに努めておりますが、テレワーク移住支援補助金申請実績として今のところは1件ということで、さらなる発信が必要と感じています。

またこういった補助制度は、本市を調べるきっかけにはなるかと思えますけれども、最終的に転入を決めるころは総合的な魅力ということになると思われます。今後、各部局が転入促進の意欲を持って、しっかりとそれぞれの施策に取り組むこと、また、総合的な魅力を発信する※ブランディング事業などをこれから進めようとしており、庁内でしっかり連携してPRしていくことが必要であると考えております。

※ブランディングとは、本市独自の魅力や立ち位置を確立して、メッセージを発信して価値やイメージを高めていくための取り組み

with コロナ時代を応援します！
テレワーク
移住支援補助制度
に関する情報は
コチラのHPへ



https://www.city.kawachinagano.lg.jp/site/jiyuuteijyu/68418.html

若林からの質問

『お年寄りに優しいまち』にすべく、ボランティア活動参加推進について、地域担い手の人材確保について、広報紙での案内を行っていただいておりますが、人材確保状況として、本市としてフォローをしていただいているのでしょうか？

地域の支え合いでの仕組みづくりについて、地域により違いがあります。行政として、横展開支援等についての動きはいかがでしょうか？



答

広報誌では支え合い活動紹介を継続し、生活支援やボランティア養成講座を開催しています。また、横展開については、既に4団体が生活支援活動をスタートさせ、現在も1団体が立ち上げに向けて準備中です。

『生活コーディネーターの配置』『生活支援活動に対する補助制度の導入』を通じ、地域の主体性を尊重し、地域ごとの特性に応じた支援を展開していきます。

地位活動を長く継続していくためには、地域の主体性が重要であると認識し、活動継続に至るまで【生活支援コーディネーター】が寄り添った丁寧な支援を続けてるところです。令和3年度からは生活支援活動に対する補助制度を導入し、費用負担の不安を解消することで活動立ち上げに対するハードルが下がったものと認識しております。今後も、地域の主体性を尊重し、地域ごとの特性に応じた支援をしてまいります。

令和4年
12月議会での
若林やすしの録画映像
配信中



若林からの質問

教育都市化についてはいかがでしょうか？



2025年の大学入試共通テストで、新たな学習指導要領に基づく※「情報I」が新設されます。将来の子供に役立つプログラミング教育がますます重要となって行くと思われませんが、本市の取組みとしては、いかがでしょうか？また、本市で小学校を通じて1回の機会ということで、先端教育を推進する教育都市化ということを目指している本市ですから、その目標からすると少ないと言わざるを得ないと思っております。プログラム教育、情報のデジタル人材が日本全体で不足しています。本市も同様と聞いているんですが、ESG観点からボランティアとして無償で積極的に活動している企業が行うプロイグプログラミング教育の推進はいかがでしょうか？

※「情報I」とは、高校で新たな必須履修となった科目です。その目的は、大きく変化する社会で子供たちが生きていくための資質・能力を育むことにあります。教科の内容はプログラミングなどのIT(情報技術)・投資や資産形成の授業となります。「情報I」では、情報と情報技術についての知識・技能、思考力人間性などが求められます。



答

プログラミング教育は、将来の予想が難しい社会に対応できる子供を育てることを狙いとしており、論理思考力や情報活用能力を身につける為の学習活動の一つであり、各教科のなかにその狙いに基づいた教育内容が盛り込まれています。

本市では、子供たちの論理思考力をつけるための体験活動として、全小学校3年生においてロボット教材を活用し、プログラム体験を設定しています。さらに、今年度からは中学校においても小型コンピューター教材を導入し、体験的な活動によるプログラミング教育のさらなる充実を図っています。またプログラミング教育の推進として、そういった企業に取り組んでいる例えば出前授業に対して、手を挙げる学校もあるのではないかなとは思っております。そういった授業プログラム、パッケージになっているようなものを提供していただける企業があり、学校のニーズが合いましたら、学校への紹介を検討させていただくことも可能かなと思っております。

若林からの要望

本市がテレワーク施策に他市に先駆けて取り組んだことはすごく評価できることだと思っています。コロナ禍のテレワークの世界が来るというのは誰も予想していなかったことですので、定住人口の維持の取組みとしての本市のチャレンジを成功に導くプロセスの一環として非常に評価したいと思っております。

前回は答弁しましたが、子育て世代であれば【父性・母性・子ども性】本市は【子供性】を培う場所として市内から30分に位置づけるまちということ、テレワークの本人も自然環境の中で働くこと、自然環境に属するという点で、オンとオフの切り替えに非常に最適なところであるということアピールできると思っています。

教育都市としてアピールについて、関係各課が連携して本市の魅力を発信するところ、転入誘致が数字に反映されるものになります。テレワークがOKとなり転入を検討したとき、賃貸物件(特にファミリー層の)が少なく苦戦するというケースが多いようにみられます。不動産業界と連携した賃貸市場の活性化、郊外サテライトオフィスの誘致などの施策を要望させていただきます。



無所属 河内長野市議会議員

若林 やすし プロフィール

【生年月日】昭和37年5月19日

経歴

青少年期 河内長野市南青葉台在住

昭和50年 河内長野市立加賀田小学校 卒業

昭和53年 河内長野市立東中学校 卒業

昭和56年 大阪府立富田林高等学校 卒業(全33期)

昭和61年 神戸大学経営学部 卒業

現在、河内長野市美加の台在住

- ・元美加の台保育園保護者会会長
- ・元美加の台放課後児童会保護者会会長
- ・平成20年度美加の台小学校PTA会長
- ・平成23年度美加の台自治会総務部長

現在(河内長野市議会)

- ・決算常任委員会委員
- ・福祉教育常任委員会委員

地域・その他活動

- ・美加の台まちづくり協議会事務局長
- ・美加の台青少年健全育成会副会長
- ・美加の台みどり会(老人会)副会長



小学校4年生の頃